

実施日：12月11日（水）	
教科等：特別活動	
取組名：今の自分たちをふり返り、ネットの使い方を考える	
対 象：3年生	実施場所：教室
ア ねらい 池袋暴走事件に関する誹謗中傷事件の被害者の気持ちに共感し、怒りの気持ちをもたせる。そして、自らの学校生活をふり返り、一步間違えれば書類送検された中学生と同じことになる危険性に気付かせ、解決策を考えさせる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 - 池袋暴走事件と誹謗中傷事件についての映像を見せ、考えさせる。 - 加害者の中学生の行動が「青中ネット憲章」のどの項目に反するかを確認する。 - これまでの学校生活をふり返り、自分自身の行動と加害者の中学生の行動に一致する部分があり、一步間違えれば犯罪につながる事に気付かせる。 - 学校生活をふり返り、なぜその行動をしてしまったのかを考えさせ、発表させる。 - 誤った行動を起こさないための解決策を考えさせる中で日々の学校生活の中に解決策があることに気付かせ、日々の取組の意味や価値を再認識させる。	
ウ 連携先：特になし	
エ 連携にむけての取組：特になし	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点 - 学年で事前打ち合わせを行い、指導案作成や指導方法を検討する。 - 授業内での生徒の行動観察や意見発表、ワークシートに記入した感想などから評価する。 - 教職員が授業参観後感想を記入する。それをもとに後日職員研修会をもって意見交流を行う。	
カ 評価の方法 - 授業中のペアトーク、グループワークの観察 - 発表や授業後の感想文	
キ 成果 - 大きな社会問題となった池袋暴走事件に関する SNS による誹謗中傷事件を取り上げ、同じ中学3年生として強い憤りをもってこの問題に向き合うことができた。 「なぜ彼女はこんなことをしたのか」を考えると、自分たちの規範である「ネット憲章」を改めて見直し、ともすれば、自分もこの中学生と同じであることに気付くことができた。 - 日々の学校生活での取組に意味や価値あることを再認識させることができた。 - 長期休みに入る前に、これまでの SNS や学校生活の失敗をふり返り、深く考えることができた。 - ネット憲章をより良いものにし、最後の生徒総会で執行部による提案に盛り込む土台作りができた。	
ク 課題 - 授業が機械的に流れ、「人はなぜしてはいけないことをやってしまうのか」を自分ごととして考え、その上で解決策をみんなで考える時間が十分に取れなかった。 - 学んだことが授業内だけで完結するのではなく、普段の生活の中に生かされているかを継続的に見ていく必要がある。	